

# 木オだよソ

社会福祉法人 東香会  
しぜんの国保育園 small village

Jan. 2023



法人理念

いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

## 1月主題 年の始まり 心から湯気

あけましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日は小寒ですね。「寒の入り」といわれ、これから更に寒さが厳しくなるころ。小寒から節分までの三十日間のことを「寒の内」といいます。この寒があけると立春。春が立ち上がってきます。  
2月には「しぜん谷の村まつり」もありますね。

昨晚、夜が冷えたので、大根やねぎ、白菜と大好きなをだし汁で煮て食べました。温かい器を両手で持ち、顔にかかる湯気に幸せを感じます。山には椿の花が咲き、そのふくよかな色彩に目を奪われます。

くるりの「東京」という曲に「あい変わらず季節に敏感にいたい」というフレーズがありますが(この曲は夏の曲)高校生の頃「自分もそうでありたい」と思ったのを憶えています。大人になった今、当時の自分の小さな願いを、心に置いている私があります。

園長 齋藤美和

新年のご祈祷動画

毎年築田寺で大晦日に行われるご祈祷のあと、理事長の紘良さんが東香会の子どもたちやご家庭、職員の多幸を願うささやかなご祈祷をされています。

今年はその様子の動画をYouTubeで公開しています。ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/channel/UCxdBztsQ54vMtOxJACzGw8A>



## 1月の予定

保育始め  
おせちパーティー  
七草  
鏡開き  
自然体験(けやき)  
どんど焼き／避難訓練  
誕生会  
村の保護者会

※全学年15時以降を予定しています。詳細は後日お知らせします。

## お知らせ と おねがい

●駐車場使用について、先月配布したおたより、コドモンの配信を再度ご家族でご確認のうえルールを守って使用していただくようご協力をお願いします。

●健康チェックシートに引き続きご記入をお願いします。緊急でお迎えをお願いすることがあるので、連絡がつくようお願いいたします。送迎は、最小人数でお願いします。園児又は同居のご家族が濃厚接触者と特定された場合、PCR検査を受ける場合、PCR検査の結果が判明した場合は、在籍園に必ずご連絡ください。

●掲示板でも告知させて頂きましたが、「卒園児」や「小学生」の居場所づくりのご要望を受けて、しぜんの国でも学童一時預かり事業を開始しております。2023年度に関しては現在調整中の部分もございますので、決定事項はまた改めてお知らせします。

●今年もどんど焼きを予定しています。正面玄関入口前に箱をご用意していますので、各家庭にあるお正月飾りをお入れください。(不要のご家庭のみ。各地域などで行う方はお持ちいただかなくて大丈夫です。)お持ちいただく際、燃えないお飾り(鈴など)は外してからお入れください。

# じむしょ 小窓 だより

2023年。  
新たな年が始まりました。年末年始のお休みを経て、久々に顔を合わせた幼児組の子どもたちは、会えた喜びから自然と笑顔が溢れていたり、ちょっぴり不安そうな表情で登園した乳児組の子どもたちは安心して大人を見つけると、柔らかな表情を見せ、すぐにいつものように遊び始めていました。その側にいる大人たちもやっぱり幸せそうな顔をしていて、その空間にいただけであたたかな気持ちになった一年の始まりです。

そして、今日は「おせちパーティー」が開かれました。コロナ渦以前、幼児組は各テーブルごとでお重を囲み、一つひとつの意味を知らながら食す機会がありましたが、取り分けて食す

ということが難しくなってからは、各チームごとにお重を用意しお部屋で「オリジナルのおせち」作っています。今年も年始早々、「おせちって知ってる」「くろまめすきなんだよ」「おばあちゃんちでたべたよ」「〇〇も作ろうよ」と、それぞれが経験したことをもとに、イメージを膨らませながら作り上げていました。そのおせち作りに今年はずみれ組も参加！幼児組のように、その意味を理解することは難しいものの、絵や画像を見ながら「これ作る」「おまめ好き」などと対話も楽しみながら、ずみれ組ならではのおせちが完成しました。幼児組のおせちと共に展示しているのでぜひご覧ください。つぼみ組はランチの際、園内にお正月の音楽が流れてくると不思議そうに音の出る方向を見つめたり、「なんか聞こえるよ」と伝えてくれたり。気が付いたあとは黙々とおせち料理を堪能していた子どもたちです。

おせち料理、七草がゆ、どんど焼き、カルタ、コマ、福笑い。様々な伝統的な文化を知ることができる日本のお正月。ご家庭での出来事や、園での経験が交ざり合ったとき、また新たな視点で文化を深めることができる暮らしは改めて大切な時間であると子どもたちの姿から感じています。今年も子どもたちと共にたくさんの経験や発見を積み重ねていきたいです。

マネージャー 鈴木絵美



## こども 村インタビュー

ずみれ  
組編

おやつのはじめ。今日のおやつはカレーパンでした。

「ぱぱんがパン！ぱぱんがパン！」(パンが主役の絵本を読んでみんなで手拍子をうちます)

じゅんさん「今日のおやつはカレーパンだよ！」

たける「おっきいのくるよ～」

ここの「みんないっしょ～！」

わなん「からい！」「おいしい！」

かこ「からくない！かこ、これ好き！」

あらた(ぱくっと3口食べて、パンの形が変わりました)

「恐竜の足みたいだねー！」

おやつ時間もお話が楽しいずみれ組。あっという間に食べ終わり、「おかわりくださーい！」の音が響いていました。

## 保育者 リレー エッセイ

第10回目の担当は、つぼみ組担任、宇野玲子さんです。  
【いつも澆刺としていて、子どもを引きつける遊びを次々と生み出す姿にあこがれます。その力の源になっていることは、何ですか？】

小杉さん、バトンありがとうございます。「澆刺」嬉しいです。今、一緒に過ごしているつぼみ組のこどもたちからも力をもらっている毎日です。

わたしの好きなことは「旅に出ること」その中で、新しいものと出会うたび「こどもたちともできるかも」とつつい顔顔を浮かべながら結びつけてしまいます。それが源になっているのでしょうか。

家族や友達と一緒に。一人でも旅にでます。この夏に訪れた瀬戸内海の男木島。島のこどもたちと海の色を塗ったという家の壁に巡り合いました。海といえば、青や白、エメラルドといったイメージを描きがちですが、その壁の色は赤や黒・濃紺の暗い色にも染められていて、海の近くで育つこどもたちは、わたしの知らないいろいろな海の色を見ているのだなとグッとくるものがありました。「同じことをやってみたい」と部活の皆さんにも協力してもらって、うみチームさんと海の映像を見て海の色を木片に塗ってみようというWSを行いました。担当しているつぼみ組のこどもたちとは、島で集めてきた砂に触れ、海の気分を味わってみました。自分の好きなことをこどもたちにも伝えて、興味を持ってくれたら一緒に何かできたらいいなと日々思っています。

海が好きで、旅の行き先は、いつも海の近くを選んでしまいます。これまで行った海で、一瞬で心惹かれてしまったのは、沖縄・西表島のイダの浜。船でしかたどり着けないそのビーチ。透き通った水の中には色鮮やかな魚。水平線と遠くに見える島々。サラサラの白い砂浜の上に寝転がりながらその風景にずっと包まれていたいと思ったものでした。

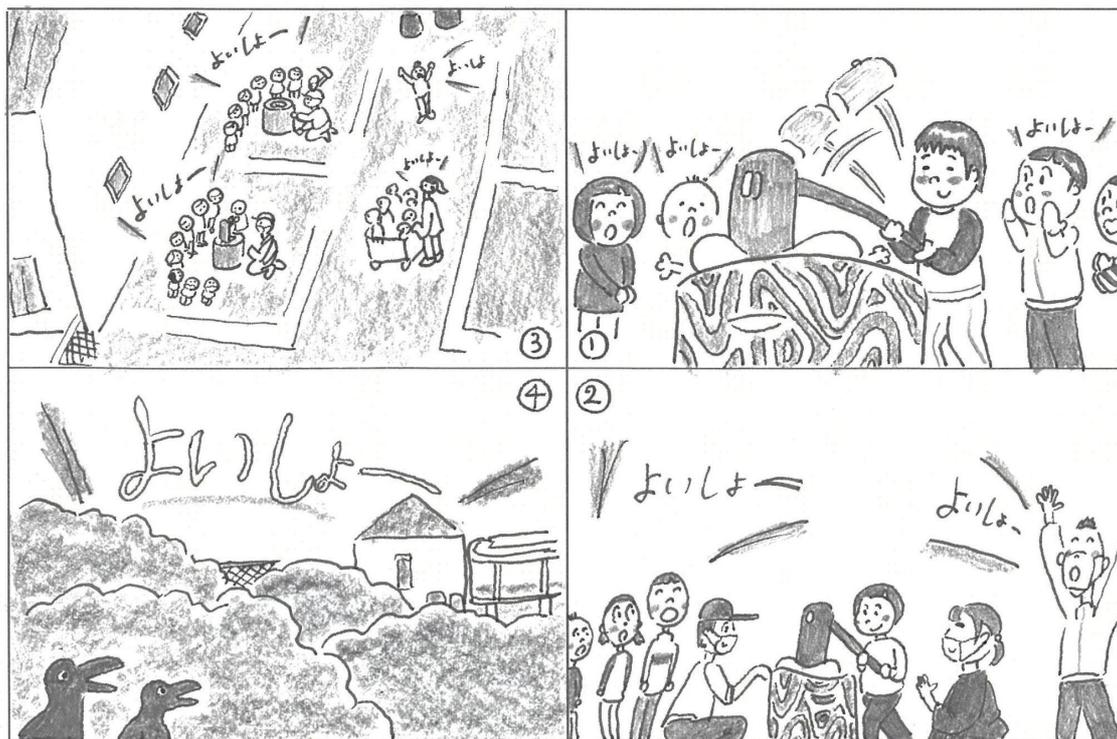
いつもと違う場所に身を置く非日常の時間を味わい、日常に戻ってきて、その中でもこどもたちと好きなことを一緒にできる。それがわたしの喜びにもなっています。

次回は...いつも心の底からの楽しそうな笑い声と笑顔で、こちらまで嬉しい気持ちにさせてくれる熊沢さん。おいしいものを食べることも大好きとのこと。これまで食べた物の中で一番笑顔になったものはなんですか？

## かみじまのんびり 漫画劇場

「よいしょー」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>